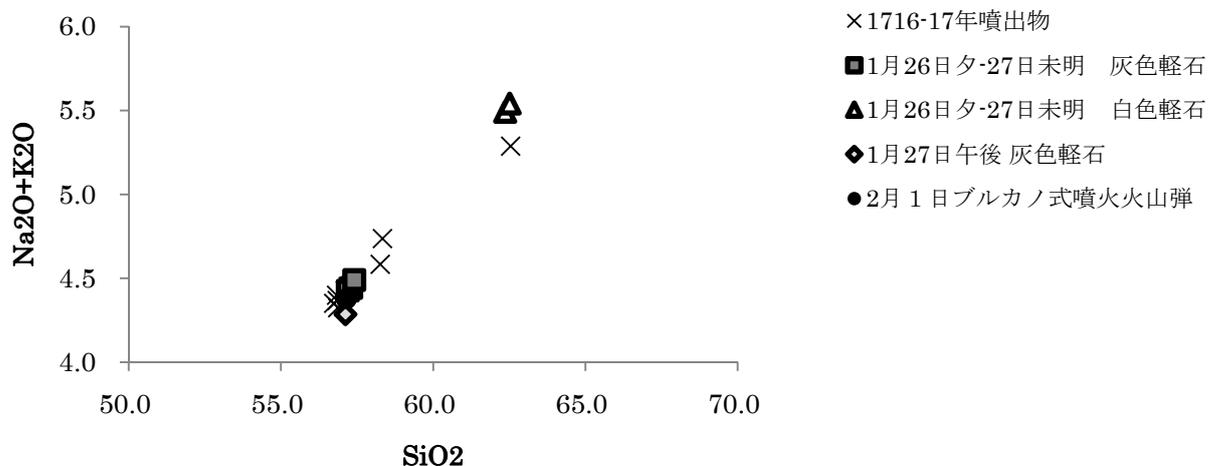
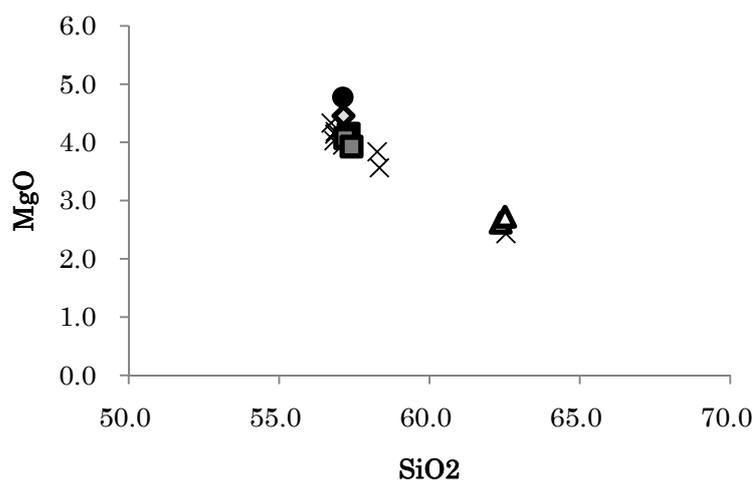


新燃岳 2011 年 1 月 26~27 日及び 2 月 1 日噴出物の全岩組成

1 月 26-27 日未明, 27 日午後の軽石噴火, 及び 2 月 1 日のブルカノ式噴火の噴出物は, いずれも $\text{SiO}_2=57\%$ の安山岩を主体とし, 顕著な時間変化は見られない.

1 月 26 日夕方, 27 日未明, 27 日午後の 3 回の軽石噴火及び, 2 月 1 日のブルカノ式噴火で噴出した軽石塊及び火山弾の全岩組成を分析した. 2 月 1 日火山弾は霧島市役所より提供された. いずれの噴出物も $\text{SiO}_2=57\%$ の安山岩を主体とする. 1 月 26 日~27 日の軽石には, より珩長質の安山岩 (白色軽石: $\text{SiO}_2=62\sim 63\%$) が少量伴われ, 灰色軽石と混合している. これらの全岩組成の特徴は, 1716~17 年噴出物とほぼ共通である.



- × 1716-17年噴出物
- 1月26日夕-27日未明 灰色軽石
- ▲ 1月26日夕-27日未明 白色軽石
- ◆ 1月27日午後 灰色軽石
- 2月1日ブルカノ式噴火火山弾